

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-5-14
事業名 漁業集落防災機能強化事業（滝浜地区）
事業費 総額 59,187 千円（国費：44,390 千円） 内訳：用地等取得補償費 346 千円、調査測量設計費 6,824 千円、 工事費 51,369 千円、発注者支援業務委託料 648 千円
事業期間 平成 26 年度～令和 2 年度
事業目的 滝浜地区は第 1 種滝浜漁港の背後集落であり、かき・わかめ等の海面養殖や大型定置網を中心に漁業が盛んな地区である。 東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受け、復興に向けて努力が続けられているが、復興にあたっては、安全・安心、さらに快適で災害に強いまちづくりを目指している。 本事業による漁業集落道整備、防災安全施設整備、土地利用高度化再編整備により、生活・生産基盤を整備し、集落及び漁業の復興を図るものである。
事業地区 滝浜地区（別紙図面参照）
事業結果 災害復旧事業と連携し、下記のとおり機能強化を図った。 ・集落道 1 号線 L=80.0m、2 号線 L=83.3m ・水産関係用地 A=3,570 m <sup>2</sup> ・安全施設（避難標識 N=1 基、照明灯 N=3 基）  <平成 26 年度～平成 27 年度> ・事業等調査業務 4,134 千円 <平成 27 年度～平成 28 年度> ・工事積算支援業務 2,140 千円 <平成 28 年度> ・用地測量 457 千円 ・発注者支援業務 648 千円 ・工事 27,646 千円 <平成 28 年度～平成 29 年度> ・水産関係用地等整備工事 9,956 千円 <平成 30 年度> ・測量設計 5 千円 ・用地取得補償 49 千円 <令和元年度> ・土地鑑定評価 44 千円

- ・用地取得補償 297 千円
- <令和 2 年度>
- ・土地鑑定評価 44 千円
- <平成 29 年度～令和 2 年度>
- ・集落道等整備工事 13,767 千円 ※災害復旧工事と合冊発注

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

水整備された用地は、漁具置き場や漁網の天日干し、養殖設備の清掃作業など、カキ養殖等の漁業活動の場として漁業者に有効に活用されている。具体的には、以下の表のとおり水産物の水揚げが伸びていることから、集落道や水産関係用地等の整備により、漁業地域の安心・安全な環境が整えられたことで、結果として漁業機能も回復することができた。

以上のことから、事業の適正な執行がなされていると判断される。

○漁港の概要（港勢調査）

年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物
		登録数	利用数	漁獲	養殖	
H25	21	209	209	0.2	43.9	カキ、ホタテ、ワカメ
R4	7	33	33	1.0	142.9	カキ、ホタテ、ワカメ

② コストに関する調査・分析・評価

事業費の設計・積算は宮城県土木工事標準積算基準等により実施し、南三陸町財務規則等に基づき入札を行い業者を選定している。

また、工事等の発注にあたっては、可能なものは合冊発注することで経費削減にも努められており、適切なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 26 年度に実施した調査結果に基づく津波避難計画等との調整や、災害復旧の進捗に合わせて測量設計を行う必要があったことから測量設計に時間を要し工事の着手が遅れが生じた。また、防潮堤の災害復旧工事の進捗に合わせて工事を実施するため、当初想定よりも 2 年以上延伸することとなった。

しかし一方で、工事の影響を受けない範囲では分割発注により工事を実施したことで、事業期間の延伸による漁業生産活動等への影響は最小限に抑えられており、円滑に事業を推進できたことから、事業手法は適切なものとする。

<想定した事業期間>

調査設計業務 平成 26 年 4 月～平成 27 年 9 月

工事発注・完了 平成 27 年 10 月～平成 31 年 3 月

<実際に事業に要した事業期間>

調査設計業務 平成 26 年 7 月～平成 31 年 3 月

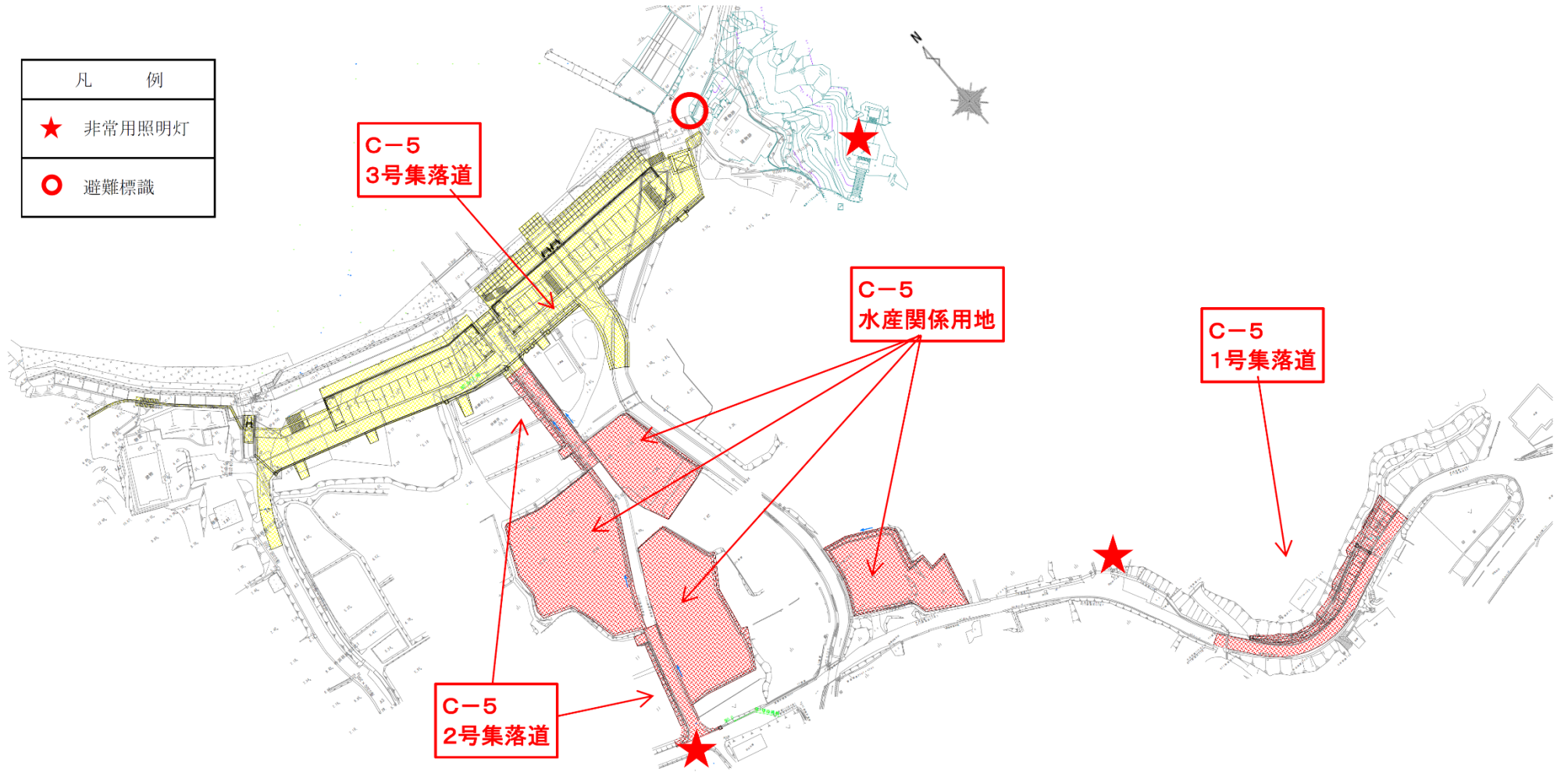
水産関係用地等整備工事 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

集落道等整備工事 平成 30 年 2 月～令和 3 年 3 月

事業担当部局

南三陸町建設課漁港係 電話番号： 0226-46-1377

凡 例	
★	非常用照明灯
○	避難標識



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-5-15
事業名	漁業集落防災機能強化事業（藤浜地区）
事業費	総額 180,524 千円（国費：135,393 千円） 内訳：調査測量設計費 14,380 千円、用地等取得補償費 14,288 千円、 工事費 151,856 千円
事業期間	平成 26 年度～令和 3 年度
事業目的	<p>藤浜地区は第 1 種藤浜漁港の背後集落であり、かき・わかめなどの海面養殖中心に漁業が盛んな地区である。</p> <p>東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けて、集落の復興に向けて努力が続けられているが、復興にあたっては、安全・安心、さらに快適で災害に強いまちづくりを目指している。</p> <p>本事業による漁業集落道整備、防災安全施設整備、土地利用高度化再編整備により、生活・生産基盤を整備し、集落及び漁業の復興を進めるものである。</p>
事業地区	藤浜地区（別紙地図添付）
事業結果	<p>災害復旧事業と連携し、下記のとおり機能強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落道 L=250.0m</li> <li>・避難路 L=100.0m</li> <li>・水産関係用地整備 A=2,200 m<sup>2</sup>、</li> <li>・安全施設（避難標識 N=1 基、照明灯 N=1 基）</li> </ul> <p>&lt;平成 26 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業等調査業務 6,673 千円</li> </ul> <p>&lt;平成 27 年度～平成 28 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事積算支援業務 1,259 千円</li> <li>・水産関係用地整備工事 11,464 千円</li> </ul> <p>&lt;平成 28 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得補償 12,290 千円</li> <li>・測量調査業務 1,018 千円</li> <li>・発注者支援業務 2,543 千円 ※志津川・戸倉地区一括発注</li> </ul> <p>&lt;平成 29 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得補償 304 千円</li> </ul> <p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地鑑定評価 44 千円</li> <li>・用地取得補償 1,590 千円</li> </ul>

<令和2年度>

- ・土地鑑定評価 44千円
- ・用地測量 1,157千円

<令和2年度～令和3年度>

- ・集落道等整備工事 140,392千円

<令和3年度>

- ・土地鑑定評価 132千円
- ・用地取得補償 103千円
- ・発注者支援業務 1,509千円 ※藤浜地区外9地区と一括発注

○漁港の概要（港勢調査）

年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物
		登録数	利用数	漁獲	養殖	
H22	31	30	30	0.9	54.2	カキ、ホヤ、ワカメ
H25	18	140	140	0.1	8.0	カキ、ワカメ
R4	10	24	24	1.6	159.3	カキ、ホヤ、ワカメ

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

整備された用地は、漁具置き場や漁網の天日干し、養殖設備の清掃作業など、カキ養殖等の漁業活動の場として漁業者に有効に活用されている。具体的には、以下の表のとおり水産物の水揚げが伸びていることから、集落道や水産関係用地等の整備により、漁業地域の安心・安全な環境が整えられたことで、結果として漁業機能も回復することができた。

以上のことから、事業の適正な執行がなされていると判断される。

○漁港の概要（港勢調査）

年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物
		登録数	利用数	漁獲	養殖	
H22	31	30	30	0.9	54.2	カキ、ホヤ、ワカメ
H25	18	140	140	0.1	8.0	カキ、ワカメ
R4	10	24	24	1.6	159.3	カキ、ホヤ、ワカメ

② コストに関する調査・分析・評価

事業費の設計・積算は宮城県土木工事標準積算基準等により実施し、南三陸町財務規則等に基づき入札を行い業者を選定している。

また、工事等の発注にあたっては、可能なものは合冊発注することで経費削減にも努められており、適切なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 26 年度に実施した調査結果に基づく津波避難計画等との調整や、防潮堤等災害復旧工事の進捗に合わせて測量設計を行う必要があったことから、工事の着手まで時間を要した。また、防潮堤災害復旧工事の整備後に着手する必要がある、その結果、水産関係用地等整備工事の完了から集落道等整備工事着手まで 1 年程の開きが生じ、事業全体の完成が当初想定よりも 2 年以上延伸することとなった。

しかし一方で、工事の影響を受けない範囲では分発発注により工事を実施したことで、事業期間の延伸による漁業生産活動等への影響は最小限に抑えられており、円滑に事業を推進できたことから、事業手法は適切なものとする。

<想定した事業期間>

調査設計業務	平成 26 年 4 月～平成 27 年 9 月
工事発注・完了	平成 27 年 10 月～平成 29 年 3 月

<実際に事業に要した事業期間>

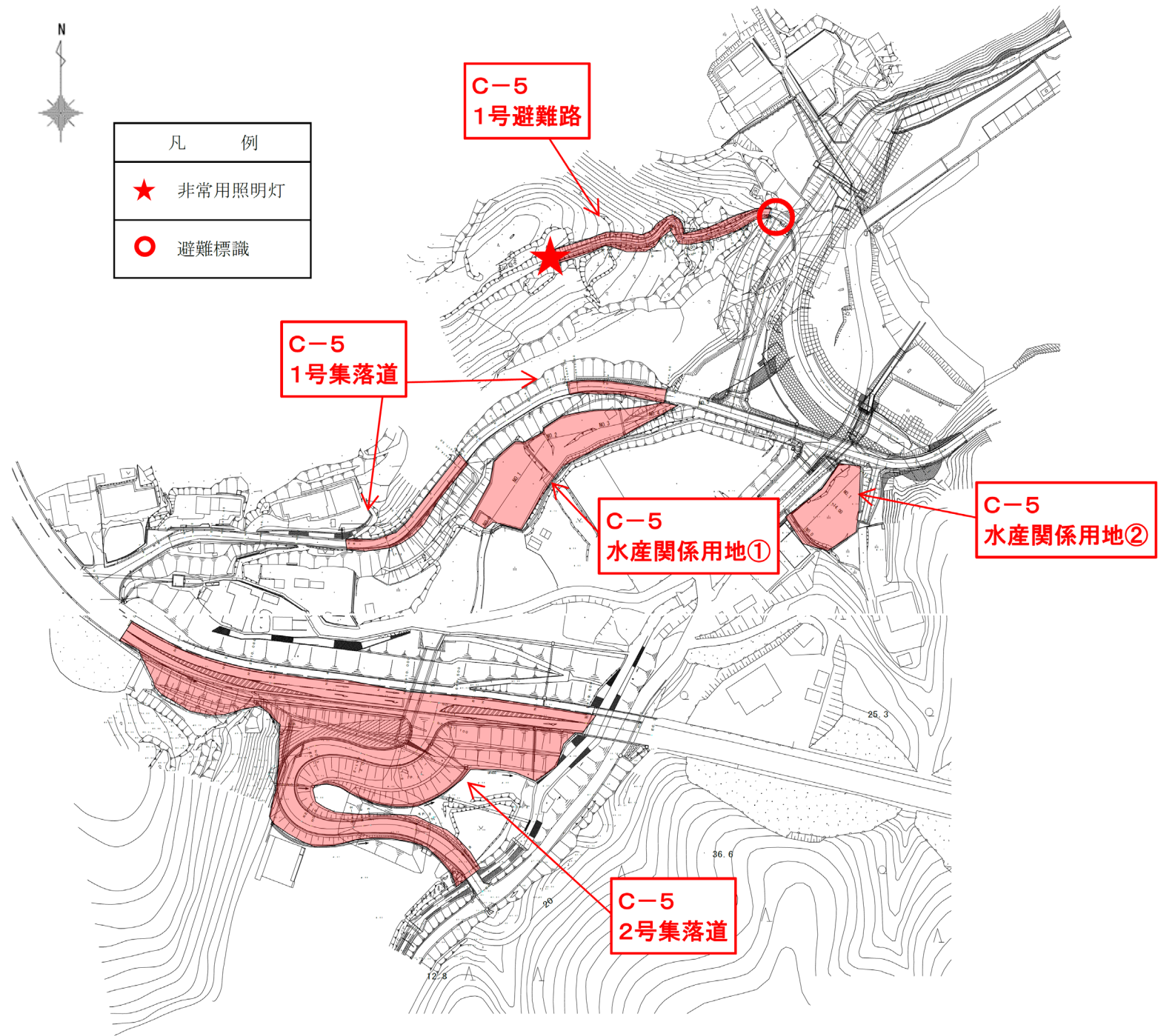
調査設計業務	平成 26 年 7 月～平成 29 年 3 月
水産関係用地等整備工事	平成 28 年 3 月～令和 29 年 3 月
集落道等整備工事	平成 30 年 2 月～令和 3 年 3 月

事業担当部局

南三陸町建設課漁港係 電話番号： 0226-46-1377



凡 例	
★	非常用照明灯
○	避難標識





【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-5-16
事業名 漁業集落防災機能強化事業（寺浜地区）
事業費 総額 69,912 千円（国費：52,434 千円） 内訳：調査測量設計費 7,923 千円、用地等取得補償費 6,378 千円、 工事費 52,820 千円、発注者支援業務委託料 2,836 千円
事業期間 平成 26 年度～令和 3 年度
<p>事業目的</p> <p>寺浜地区は宮城県南三陸町にある第 1 種寺浜漁港の背後集落であり、わかめ等の海面養殖を中心に漁業が盛んな地区である。しかし、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けている。</p> <p>現在、集落の復興に向けて努力が続けられているが、復興にあたっては、安全・安心さらに快適で災害に強いまちづくりを目指しており、本事業による漁業集落道整備、防災安全施設整備、土地利用高度化再編整備により、生活・生産基盤を整備し集落及び漁業の復興を図るものである。</p>
事業地区 寺浜地区（別紙地図添付）
<p>事業結果</p> <p>災害復旧事業と連携し、下記のとおり機能強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落道 L=200.0m</li> <li>・水産関係用地整備 A=4,000 m<sup>2</sup></li> <li>・安全施設（照明灯 N=1 基）</li> </ul> <p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業等調査業務 1,530 千円 ※折立地区外 5 地区と一括発注</li> </ul> <p>&lt;平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査測量設計業務 1,370 千円</li> <li>・工事積算支援業務 700 千円 ※細浦地区外 5 地区と一括発注</li> </ul> <p>&lt;平成 27 年度～平成 28 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産関係用地等整備工事（1 工区） 12,300 千円</li> </ul> <p>&lt;平成 28 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得 5,487 千円</li> <li>・用地測量 27 千円</li> <li>・発注者支援業務 1,702 千円 ※志津川・戸倉地区一括発注</li> </ul> <p>&lt;平成 29 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産関係用地等整備工事（2 工区） 12,188 千円</li> </ul> <p>&lt;平成 30 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地鑑定評価 43 千円</li> </ul>

・測量設計 244 千円

<令和 2 年度>

・用地取得補償 540 千円

・用地測量 3,919 千円

<令和 2 年度～令和 3 年度>

・集落道等整備工事 24,163 千円

・発注者支援業務 1,134 千円 ※藤浜地区外 9 地区と一括発注

<令和 3 年度>

・土地鑑定評価 44 千円

・用地取得補償 351 千円

#### 事業の実績に関する評価

##### ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

水整備された用地は、漁具置き場や漁網の天日干し、養殖設備の清掃作業など、わかめ養殖等の漁業活動の場として漁業者に有効に活用されている。具体的には、以下の表のとおり水産物の水揚げが伸びていることから、集落道や水産関係用地等の整備により、漁業地域の安心・安全な環境が整えられたことで、結果として漁業機能も回復することができた。

以上のことから、事業の適正な執行がなされていると判断される。

##### ○漁港の概要（港勢調査）

年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物
		登録数	利用数	漁獲	養殖	
H25	20	174	174	0.2	17.2	ワカメ
R4	21	38	38	2.4	267.3	ホタテ、ワカメ

##### ② コストに関する調査・分析・評価

事業費の設計・積算は宮城県土木工事標準積算基準等により実施し、南三陸町財務規則等に基づき入札を行い業者を選定している。

また、工事等の発注にあたっては、可能なものは合冊発注することで経費削減にも努められており、適切なものとする。

##### ③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 26 年度に実施した調査結果に基づく津波避難計画等との調整や、防潮堤等災害復旧工事の進捗に合わせて測量設計を行う必要があったことから、工事の着手まで時間を要した。また、工区を分けて発注することで早期の完了を図ったが、防潮堤災害復旧工事の整備後に着手する必要があるため、その結果、2 工区の完了から集落道等整備工事着手まで 2 年程の開きが生じ、事業全体の完成が当初想定よりも 2 年以上延伸することとなった。

しかし一方で、工事の影響を受けない範囲では分発発注により工事を実施したこ

とで、事業期間の延伸による漁業生産活動等への影響は最小限に抑えられており、円滑に事業を推進できたことから、事業手法は適切なものとする。

<想定した事業期間>

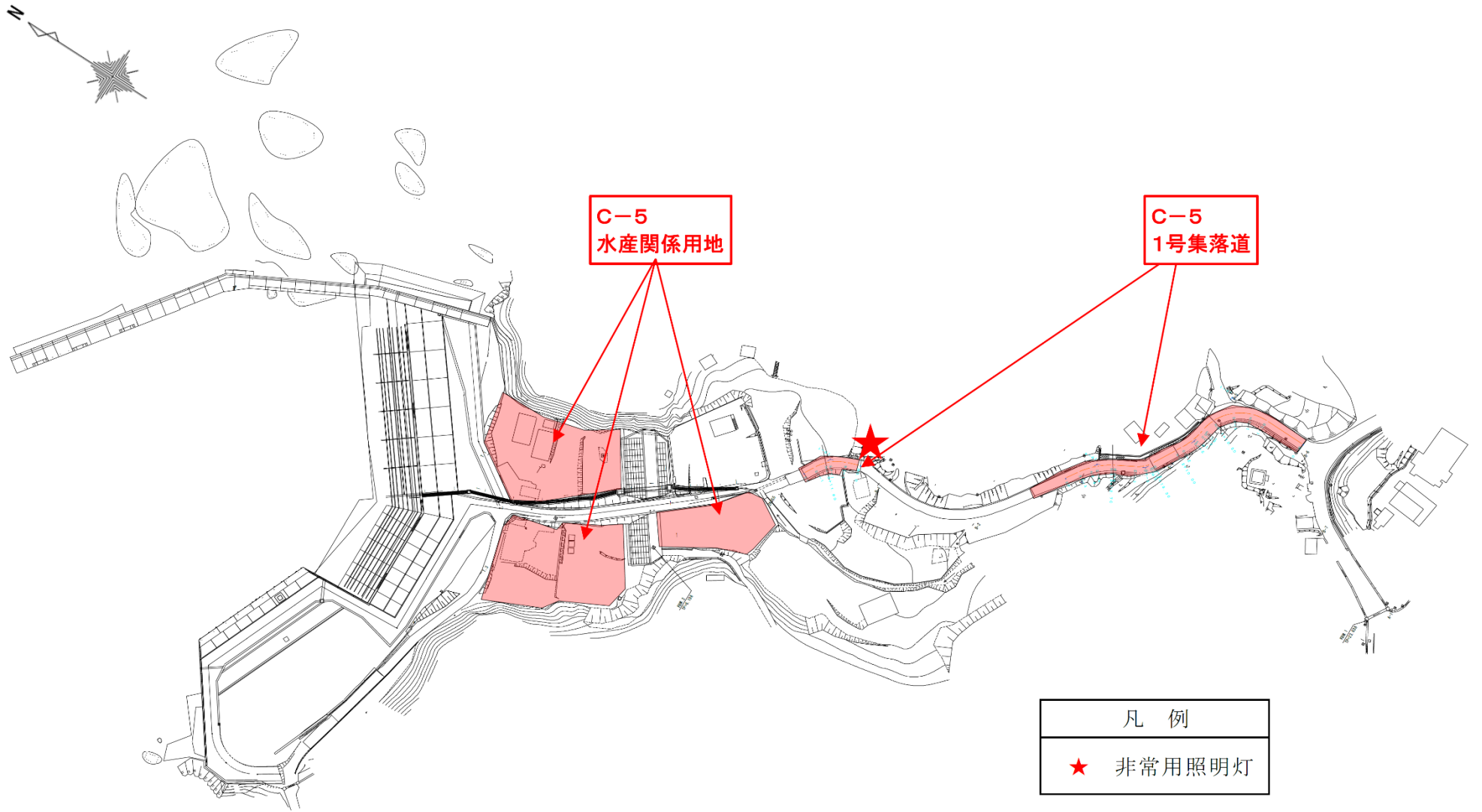
調査設計業務	平成 26 年 4 月～平成 27 年 9 月
工事発注・完了	平成 27 年 10 月～平成 31 年 3 月

<実際に事業に要した事業期間>

調査設計業務	平成 26 年 7 月～平成 29 年 3 月
水産関係用地等整備工事 (1 工区)	平成 28 年 3 月～平成 29 年 1 月
水産関係用地等整備工事 (2 工区)	平成 29 年 8 月～平成 29 年 12 月
集落道等整備工事	令和 2 年 10 月～令和 3 年 3 月

事業担当部局

建設課漁港係 電話番号： 0226-46-1377



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-6-14																															
事業名 漁港施設機能強化事業（寺浜漁港）																															
事業費 総額 5,508 千円（国費：4,131 千円） 内訳：工事費 5,508 千円																															
事業期間 平成 26 年度																															
<p>事業目的</p> <p>被災した漁港において、災害復旧事業による漁港施設（防波堤、物揚場、船揚場、道路）の復旧と連携して、漁業施設用地（共同利用施設）の舗装等を行い、漁港機能の速やかな回復を図る。</p> <p>事業地区 寺浜漁港（別紙図面参照）</p>																															
<p>事業結果</p> <p>災害復旧事業と連携し、下記のとおり機能強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業用施設用地 As 舗装 A=300 m<sup>2</sup>、排水工 L=90m</li> </ul> <p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事費 5,508 千円</li> </ul> <p>○漁港の概要（港勢調査）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">経営 体数</th> <th colspan="2">漁船</th> <th colspan="2">水産物水揚げ(t)</th> <th rowspan="2">主な水産物</th> </tr> <tr> <th>登録数</th> <th>利用数</th> <th>漁獲</th> <th>養殖</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>20</td> <td>174</td> <td>174</td> <td>0.2</td> <td>17.2</td> <td>ワカメ</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>21</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>2.4</td> <td>267.3</td> <td>ホタテ、ワカメ</td> </tr> </tbody> </table>							年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物	登録数	利用数	漁獲	養殖	H25	20	174	174	0.2	17.2	ワカメ	R4	21	38	38	2.4	267.3	ホタテ、ワカメ
年度	経営 体数	漁船		水産物水揚げ(t)		主な水産物																									
		登録数	利用数	漁獲	養殖																										
H25	20	174	174	0.2	17.2	ワカメ																									
R4	21	38	38	2.4	267.3	ホタテ、ワカメ																									
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>漁業施設用地について舗装整備したことから、漁具置き場や漁網の天日干し、養殖げたの清掃作業など、ほたて・わかめ養殖等の漁業活動で漁協組合に加入する約 20 名の漁業者に有効に活用されている。以上のことにより、事業が適正な執行がなされていると判断される。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>事業費の積算は宮城県土木工事標準積算基準等により実施し、南三陸町財務規則等に基づき入札により業者を選定している。また、折立漁港の同工事と合冊発注することで経費削減が図られている。</p> <p>同様の事業を行った気仙沼市の漁港施設機能強化事業の事業費(138,868 千円/4 件)と比較すると、気仙沼市 6,600 円/m<sup>2</sup>に対し南三陸町 18,400 円/m<sup>2</sup>であった。事業費の差異については、アスファルト舗装と排水施設を整備したことによるもので</p>																															

あり、当該事業に係る費用は妥当であったと判断される。

	南三陸町	気仙沼市
事業箇所	寺浜地区(第1種漁港)	市内漁港4地区(第1種漁港)
事業内容	漁港施設用地舗装 (A=300 m <sup>2</sup> )	漁港施設用地嵩上げ (H=1m,A=21,117 m <sup>2</sup> )
事業費	5,508 千円	138,868 千円

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

関連する災害復旧事業及び漁業従事者との調整により工事発注時期に遅れが生じたが、漁業関係者の工事への理解が得られ、漁業活動との調整が滞りなくされたことにより、工事を円滑に進めることができ早期に完了できたことから、事業手法は適切だったと判断される。

<想定した事業期間>

工事発注・完了 平成26年5月～平成28年3月

<実際に事業に要した事業期間>

工事発注・完了 平成26年7月～平成27年1月

事業担当部局

建設課漁港係 電話番号：0226-46-1377